令和３年１２月６日

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構

令和３年度受注企業実態調査結果（概要）

標記調査の結果を下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

記

１　調査概要

(1)　調査目的‥‥‥‥‥受注企業の生産・経営状況等の実態を把握して今後の中小企業振興の一助とする。

(2)　調査対象‥‥‥‥‥県内の中小製造業 1,384 事業所

(3)　調査方法‥‥‥‥‥郵送・Web によるアンケート方式

(4)　調査時点‥‥‥‥‥令和 3 年 10 月 1 日現在

(5)　回答状況‥‥‥‥‥回答企業　354 社（25.5%）

２　調査結果の概要

・経営、生産状況については、収益性が良くなった、受注量が増加したと回答する企業が多いことから、状況が改善していることが伺える。
・経営上の問題点については、受注量の確保とする企業が最も多かった。加えて、原材料価格の上昇及び人材不足と回答する企業の割合が増加している。
・新型コロナウイルスの影響が出ているとする企業は約 6 割となり、海外からの製品(部品)調達に支障が出ている企業の割合が増加している。
・ＩＴ化、ＤＸ化に取組んでいる企業は約 2 割、今後取り組みたいが約 5 割となっている。
・機構事業に対する要望は、助成金制度の拡充、販路拡大支援、人材確保が多い。

３　主な調査結果

(1)　受注量・受注単価・収益性の動向

・受注量は、「増加した」が38.2%。　（前年比31.8ポイント増）
・受注単価は、「良くなった」が14.1%。（前年比12.3ポイント増）
・収益性は、「良くなった」が23.7%。　（前年比19.6ポイント増）

(2)　経営上の主な問題点

・「受注量の確保」が、62.4%　（前年比 21.0 ポイント減）
・「人材不足」が、52.3%　（前年比 16.4 ポイント増）
・「石油・原材料価格の上昇」が31.4%　（前年比 24.5ポイント増）

(3)　新型コロナウイルスの影響

・「既に影響が出ている」が57.3%、「影響が出たが収束した」が17.4%。
・影響の内容は、「売上の減少」が84.8%、「海外からの部品調達に支障」が20.3%。

(4)　ＩＴ化・ＤＸ化に関する取組について

・「取組んでいる」が19.4%、「今後考えてみたい」が46.8%。
・ＩＴ化、ＤＸ化で取組みたい内容は、「生産性向上」が71.2%、「新ビジネスの創出」が16.8%。

(5)　支援策の要望

・機構事業の中で今後充実して欲しい支援策は、「助成金制度の拡充」が56.4%、「販路拡大支援」が 50.8%、「人材確保」が 27.0%。

【お問合せ先】

（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構　産業振興課　　近藤、永峰
〒３１０－０８０１　水戸市桜川２－２－３５　　茨城県産業会館９階
ＴＥＬ：０２９－２２４－５３１７　　Ｍａｉｌ：　kigyo@iis－net. or. jp